

分銅の校正方法 (Ver. 1.4)

JCSS 不確かさの見積もりに関するガイド
登録に係る区分: 質量
校正手法の区分の呼称: 分銅等(第9版)

および

JCSS 不確かさの見積もりに関するガイド
登録に係る区分: 質量
校正手法の区分の呼称: はかり(第11版)

上記を参照し、分銅の校正における不確かさを求める

(注) JCSSの校正に関して有効期限の規定はありませんが、
静岡県計量協会環境計量証明部会では、3年としています。

校正手順

1 検査年月日を入力する

検査年月日	平成	27	年	10	月	22	日
-------	----	----	---	----	---	----	---

1 参照分銅の協定質量および拡張不確かさを校正表より下記の表に記入する

	公称値		
	1 g	10 g	100 g
最新の協定質量	0.999998	9.999613	99.99937
最新の拡張不確かさ	0.000030	0.000060	0.00015
前回の協定質量	1.000006	9.999900	99.99971
前回の拡張不確かさ	1.000030	0.000060	0.00015

(g)

3 参照分銅の校正年月日を入力する

有効期限	平成	27	年	8	月	28	日
------	----	----	---	---	---	----	---

2 参照分銅の有効期限を入力する

有効期限	平成	30	年	8	月	28	日
------	----	----	---	---	---	----	---

3 天秤の目量を入力する

測定範囲	目量
1 ~ 10 g	0.01
100 g	0.1

(mg)

4 気温、湿度、大気圧を入力する

気温 (°C)	20	湿度 (%)	65	気圧 (hPa)	1020
---------	----	--------	----	----------	------

5 天秤の校正のため参照分銅を各10回ずつ秤量する

測定回数	公称値		
	1 g	10 g	100 g
1	1.00013	10.00000	99.9988
2	1.00010	9.99997	99.9988
3	1.00008	9.99999	99.9988
4	1.00010	9.99999	99.9988
5	1.00007	9.99996	99.9988
6	1.00011	10.00000	99.9987

分銅検査2015_.xls

7	1.00013	10.00000	99.9989
8	1.00013	10.00003	99.9987
9	1.00010	10.00001	99.9988
10	1.00013	10.00000	99.9988

(g)

6 を押して測定を開始する

参照分銅 → 試験分銅 - 参照分銅 の順に秤量する